

第3部

関東大震災が造った東京 —帝都復興事業とその後—



神田明神の境内に立つ児童公園の記念碑



「昭和通（『帝都復興史』第1巻）」

2023年

11月29日(水)～3月28日(木)

2024年

関東大震災

第34回特別企画展

私は30年間、1923（大正12）年に発生した関東大震災の研究を続けてきた地震学者です。

震源、揺れ、被害について研究し、ここ10余年は震源域の真上にあたる神奈川県と最大の被害を出した東京都23区を中心に、現地調査を行ってきました。その間、様々な疑問の解消に挑戦してきました。そもそも、震災を引き起こした地震の正体は、マグニチュード7.9というが根拠は。本震に引き続く余震の発生状況は。揺れ、火災、土砂災害、津波による被害は。人的・物的被害数や経済被害額は。大量の避難者の動向とその救済は。江戸・東京のほかの地震災害は。なぜ東京で最も大きな被害を出したのか。そして、東京市民は如何にして立ち直り、東京は復興したのか。

関東大震災から100年を記念してこれらの成果の一端をみなさんに伝えたい。自然災害大国日本に生きるみなさんが災害を考える上での参考になれば幸いです。

【監修】名古屋大学減災連携研究センター特任教授 武村雅之



「関東大震災の鳥観図」

（吉田初三郎作、大阪朝日新聞大正13年9月15日付録）

 **減災館**

Disaster Mitigation Research Building

減災連携研究センター

2月3日(土曜日) 13:30～

スペシャルギャラリートーク③

武村雅之特任教授「関東大震災が造った東京—帝都復興事業とその後—」

〒464-8601 名古屋市中種区不老町 Tel: 052-789-3468 Fax 052-789-5023

開館時間：13:00-16:00 休館日：日祝・月・火曜日、最終土曜日

※天候、行事等の諸事情により上記以外でも急遽休館になる場合がございます。

※最新の情報はHPにてご確認ください。http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/

